

第35回「ハートミーティング」意見交換の内容について

京都市役所防災ワーキンググループ

★参加メンバーからの主な声

- 地震等による災害から市民の皆様の生命・財産をいかにして守るか、復興をいかにして進めていくか、また、そのためには今何ができるのか、何をすべきなのか、といったテーマについて、日々議論を行っている。
- 中でも、総合技術とも言われる防災技術を研究することで、個々のスキルアップを図り、安心・安全なまちづくりに貢献することを目指している。
- 震災時に迅速に対応するためには、事前に復興のイメージを市民の皆様、地域の住民の方々と一緒に考え、共有しておくことが重要であると考えている。
- 特に、細街路や路地は、京都の大きな魅力の一つではあるが、同時に、災害時には危険な場所となり、再建も困難なことから、法律の柔軟な運用等も視野に入れた事前の対策をしっかりと用意しておく必要がある。
- また、緊急輸送道路は防災上重要であり、計画的・効率的な耐震補強と修繕に力を入れていかなければならない。

★市長からのコメント

- 土木技術職の皆さんには、橋りょうの耐震補強及び老朽化修繕のスピードアップを図るための「いのちを守る 橋りょう健全化プログラム」を短期間で策定してもらい、感謝している。
- 本市には、細街路が多く、災害時の対応は重要な問題であると考えている。歴史と伝統のまちとして、京都の魅力を残しつつ、100年後、1000年後のことを考えた防災対策を進めていく必要がある。
- また、防災の観点、景観の観点、観光の観点からも、無電柱化事業は重要な事業であり、引き続き進めていかなければならない。
- 一番大切なものは「いのち」である。「いのちを守る」という思いを持ち続け、努力をしていけば、どのような分野・どのような業務であっても、問題の解決策を見つけることができるのではないか。